講義名	教職実践演習【教職科目】				授業形態		その他	学歌投資車領報31/中部科学水)			
		開講期・曜日・時限 後期 水曜日 2時限				適宜、使	学習指導要領解説(文部科学省) 用する教科書を指定する。				
担当教員	池田 曜子/田邉 良祐/西尾 範博	TO HE COMMENT	K BEN SWEET ENGIN								
		単位数 2 履	修開始年次 4年生	ナンバリング・ ード	TTC421						
題と概要											
	た教科及び教職専門科目に関する知識技能を踏まえながら、「	教師としての使命感や責任	感、教育的愛情」、「社会性、	対人関係能力」、「生徒理	<b>『解力、学級経営力』、</b> 「	教科指導力」に	授業計画				
おいて必要な資質 イントロダクショ 数昌とませれし	」た教科及び教職専門科目に関する知識技能を踏まえながら、「 権力を高めてください。 12 / は学内の教員全員で行い、その後、教職担当教員 3 人のオム (行います。) 中教員の協力を得て、学校見学を行い、ゲストティーチャーと	ムニバス形式で講義・グルー	ブ討論・フィールドワーク・模	擬授業等を行います。 その	)際、学内の「教科に関す	る科目」の担当	1. 「イン復習内容	トロダクション] 学修の振り返り、講義概要・進め方の説明 : 授業内容の確認と次回授業での発表に関する資料作成をす	] 「ることで理解を深めること(240分)	)	
教員とも励力して 学外の教育委員会	に行いるす。 会や教員の協力を得て、学校見学を行い、ゲストティーチャーと	して講義やグループ討論の	指導を得る。				2. 最近 予習内容 復製力等	の生徒の埋解と指導 :授業で取り上げる内容について、教科書を熟読し発表の準 ・振拳内容の確認と次同振器での発素に関する姿貌作成を発	■備を行うこと(60分)	,	
							2. [教職	・10条件目を記した。 の意義と職務内容] 教職の意義、教員の役割(グループ討議 :授業で取り上げる内容について、教科書を熟読し発表の準	、ロールプレイング) 単備を行うこと(60分)	,	
							復習内容	: 授業内容の確認と次回授業での発表に関する資料作成をす もに対する責任] 教師の役割、使命、責任(グループ討議等	「ることで理解を深めること(180分) )	)	
							ア資内容 復習内容 4. 「生徒	:技業で取り上りる内谷について、教科書を恋師し先校の学 :授業内容の確認と次回授業での発表に関する資料作成をす 理解11 生徒理解全般に対する講義、グループ討議	= 備を行うこと(60万) 「ることで理解を深めること(180分)	)	
							予習内容 復習内容	<ul><li>授業で取り上げる内容について、教科書を熟読し発表の準</li><li>授業内容の確認と次回授業での発表に関する資料作成をす</li></ul>	■備を行うこと(60分) 「ることで理解を深めること(180分)	)	
							5. 以对人 予習内容 復製内容	対係] 社会性や对人関係能刀に関する講義、クルーフ討議 :授業で取り上げる内容について、教科書を熟読し発表の準 :将等内容の確認と次回得業での発表に関する資料を成をす	E備を行うこと(60分)	)	
連目標						6. [生徒 予習内容	トロダウション 学修の振り返り、講義概要・進め方の記す ・ ド発内容の確認と次回授業での発表に関する資料作成をする の注述の理解と指摘。存について教科書医療と表して ・ 「製工のでは、一般では、教科書医療と表して ・ 「製工のでは、一般では、教科書医療と表して ・ 「製工のでは、一般では、教科書医療と表して ・ 「製工のでは、大の世界では、教科者医療と対し、手気ので ・ 「製工のでは、大の世界では、教科者を表して、教科者 ・ 「製工のでは、大の世界では、教科者を表し、手気ので ・ 「製工のは、上の一般では、教科者を表し、手気ので ・ 「製工のは、上の一般を表し、「一般では、 ・ 「製工のは、上の一般を表し、一般では、 ・ 「製工のは、上の一般を表し、一般では、 ・ 「製工のは、上の一般を表し、一切では、 ・ 「製工のは、上の一般を表して、 ・ 「製工のは、上の一般を表し、 ・ 「製工のは、上の一般を表し、 ・ 「製工のは、上の一般を表し、 ・ 「製工のは、上の一般を表し、 ・ 「製工のは、上の一般を表し、 ・ 「製工のは、上の一般に、 ・ 「製工のは、上の一般を表し、 ・ 「製工のは、上の一般に、 ・ 「製工のは、上の一般で、 ・ 「、・」」 「、・」 「、・」 「、・」 「、・」 「、・」 「、・」 「、	<b>準備を行うこと(60分)</b>			
- 物類としての使命器や責任語を持ち、学習集に対する要情を置かに持つことができるようになる。 ・社会性や対人関係を別下につけて、深い関係力と受験力を得たけることができるようになる。 ・生徒理解や学級経営等に関して、必要な能力の基礎を身につけることができるようになる。 教授指揮におけて、教師として継続処理を実施的連用能力を見ていて、計画を楽念でしてことができるようになる。						復習内容 7. 学級組 予製内容	:授業内谷の権認と次回授業での発表に関する資料作成をす 経営案の作成とグループ討議 ・将業で取り上げる内容について 教科書を熟誌し発売の複	「ることで埋解を深めること(180分) 『備を行うこと(60分)	)		
・ また理解や子が経過でし、例を必要な実践の連用能力を身につけ、研測を深めていくことができるようになる。  ・ 教科指導において、教師として最低限必要な実践的連用能力を身につけ、研測を深めていくことができるようになる。						場合が実施が受ける場合に必要がある。 一般では、「中では、「中では、「中では、「中では、「中では、「中では、「中では、「中					
							予留内容 復習内容 g 学校	: 授業で取り上げる内谷について、教科書を黙読し発表の学 : 授業内容の確認と次回授業での発表に関する資料作成をす 7音拍場の目学	■備を行つこと(60分) 「ることで理解を深めること(180分)	)	
							予習内容 復習内容	: 技業内各の機能と从回技業での完装に関する負料作成を9 育現場の見学 : 見学校校で学びたい事柄をまとめて授業に出席すること( : まとめを作成することで、授業見学での学びへの理解を済 教育団場の調査	180分) ほめること(180分)		
						(報節分野:まどのを作がようもことで、授業見子での子びへの理解を決めること(180万) 18 日本					
							18 田19分・& このでにカスターとに、 投票元子でのテリベル理解を水ののこと(180万) 11、学校教育現場見学・調査の振り返りとグループ討議 予閣内容・見学校で学んだ事務をまとめて授業と出席すること(180分)				
							複数内容: まとめを作成することで、授業見学での多が人の理解を深めること(180分) 12. 機規模型の計画立案 子宮内容: 形器で切り上げる内容にして、教料書を熟読し、機模提等の準備を行うこと(60分) (複数内容: 光度内容の確認と次回授業での発表資料、学習指導策を作成することで理解を深めること(180分)				
出課題										80分)	
レポート、グル-	- ブ討議、指導案の提出、模擬授業など						予省内容: 20業で取り上げる内容について、教科書を熟読し、模擬授業の準備を行うこと(60分) 復数内容: 20業で取り上げる内容について、教科書を熟読し、模擬授業の準備を行うこと(60分) 復数内容: 20歳を持ち、20歳の確認と学習指導案を作成することで理解を深めること(180分)				
							予習内容	: 授業内容の権認と子宮指導条を作成することで理解を深め 授業の講評 : 横嶽保寒内容に関して振り返りを行うこと(60分) : 授業内容の確認をすることで理解を深めること(180分) のまとめ、討議の振り返り、教師としての資質能力の自己計 : 授業内容の確認をすることで理解を深めること(180分) : 授業内容の確認をすることで理解を深めること(180分)			
							15. 授業 予習内容	のまとめ、討議の振り返り。教師としての資質能力の自己計 :模擬授業内容に関して振り返りを行うこと(60分)。 ・	P価		
							侵当内谷	: 授業内谷の権能を9 ることで理解を沫めること(160万)			
	- や小テスト等)に対するフィードバックの方法						授業形態	(アクティブ・ラーニング)			
<b>ノレセンテー</b> シ:	ョンのあとコメントと改善点を指導する。						0	P:PBL(課題解決型学習)		0	イ:反転授業(知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態)
								ウ: ディスカッション、ディベート			エ:グループワーク
							-	†: ブレゼンテーション F: その他(AL型であるけども、以上の項目のいずれにも	韓本1 わけ借令 /	0	カ:実習、フィールドワーク
						processor and an analysis and					
						卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連					
							商学部 7	ーケティング学科では、企業環境をマーケティングの視点でも、自ら考え、自ら判断し、主体的に行動することが必要で	で捉え、現状を改変する努力を持続す	することが	ができる学生を育てます。
呼価の基準	PU PARTECON MERCHANICAN AND AND AND AND AND AND AND AND AND A						41296	5. A 5-57. C 5 55m O. T FEB (1) 30 7 G C C 11-0-5 G	C 7 6		
レホート(40%)、	グループ討議(30%)、模擬授業(30%)、を総合的に判断する。										
							> ( 1=	W			
下野にのだっていた思・明白地 部川原を前提とする。 数質異質の関係等を持参すること。						-	業の実施及びICTの活用に関する記述 業は実施しない。				
教育実習の資料を	<b>手を持参すること。</b>						жлыя	来は失悲しない。			
							実務経験	の有無及び活用			
									<u> </u>		
科書											
(科書 .使用しない.			1	ı	ı						
		+		+	-		(告字				
		1					備考				
老図書							学校教育	現場への見学は、毎週の間講時間とは別の日時に行います			
・考図書 .なし.			T	i	Т		学校教育	現場への見学は、毎週の開講時間とは別の日時に行います。			
*考図書							学校教育	現場への見学は、毎週の開講時間とは別の日時に行います。			
・考図書 . なし.					_		学校教育	現場への見学は、毎週の開講時間とは別の日時に行います。			